

令和7年度障害者就労施設における生産活動の効率化に資する ICT 機器等の導入事業 における活用事例

法人名 社会福祉法人あおの丘
事業所名 工房あおの丘
(就労継続支援B型)

1. ICT 機器の製品名

クラシックプロタッチスクリーンモニター（スタンド付）1 台

2. ICT 機器の導入目的

- ・事業所内において、これまで職員間、利用者間において作業工程の可視化や動画などによる映像化が不十分で、個々の主観による伝達が多くなっており、作業工程のやりかたにばらつきが生じていた。それを解消する。
- ・利用者の増加に伴い、支援ツールの煩雑さが増しており、視覚的、大きさ、変更の確認のしやすさを本人と一緒に機器をふれることで、更新しやすくなる。
- ・数値化や表化、文字化が広範的、全体的に行うことができ、目標設定や注意点の周知がしやすくなる。
- ・ホワイトボードと同等の機能は十分補いながら、情報保存、更新、データの同時視聴、オンライン通信など汎用性が高くできる。

3. 導入した ICT 機器の内容及び活用方法

- ・事業所内に端末と連動した大型ディスプレイを設置したことで、まず室内で様々な情報を視覚的に共有している。
- ・スタッフから利用者に口頭伝達や手順書でしか伝えられない、作業動作など映像で流したり、ズーム、スローなどその都度確認でき、さらに一度に多くの利用者と共有している。
- ・目標値、出来高数値の変化をディスプレイにて視聴しやすくなっている。
- ・タッチパネルにより既存のホワイトボードと同様の作業に活用し、データ保存ができる。
- ・施設外からのオンラインや発注先の企業ともオンラインで繋がれて、情報の伝達や注意点の伝達、モチベーション向上などに繋げている。

4. 障害者の生産活動の参加状況

- ・主に部品加工や自主製品製造の場面で活用がみられる。目標、数値、手順動画などの用途で使用。

- ## 5. ICT 機器の導入効果

- ## 6. 今後の課題

7. 写真 (任意)

